

1 基本情報

施設名称	平野区民センター・平野区民ホール
施設所管課・担当	平野区役所 地域課
条例上の設置目的	コミュニティ活動の振興並びに地域における文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、市民の集会その他各種行事の場を提供することにより市民相互の交流を促進し、もって連帯感あふれるまちづくりの推進に寄与すること。
業務の概要	・貸館運営業務 ・徴収事務委託契約に基づく利用料金の徴収及び収納業務 ・施設総合管理業務 ・自主事業の企画実施に関する業務
成果指標	施設の利用率及び利用者の満足度
数値目標	区民センター：利用率70％ 満足度80％ 区民ホール：利用率60％ 満足度80％
指定管理者名	一般財団法人大阪市コミュニティ協会
指定期間	令和３年４月１日～令和８年３月31日
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月31日

2 管理運営の成果・実績

平野区民センター		
成果指標	利用率	満足度
数値目標	70％以上	80％以上
年度実績	70.9%	100.0%
達成率	101.2%	125.0%
平野区民ホール		
成果指標	利用率	満足度
数値目標	60％以上	80％以上
年度実績	51.0%	99.2%
達成率	85.0%	124.0%

利用状況

平野区民センター			
	当年度	前年度	前年度比
利用人数	233,880	178,744	55,136
稼働率	70.9%	70.6%	0.3%
平野区民ホール			
	当年度	前年度	前年度比
利用人数	63,329	65,740	-2,411
稼働率	51.0%	54.8%	-3.8%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	65,334,036	67,036,093	6,496,036	物価高騰経費の補填による増
	計画	58,838,000	58,838,000		
利用料金（使用料）収入	実績	15,432,490	13,116,050	1,888,090	指定管理者の利用促進による 利用の増
	計画	13,544,400	13,484,100		
自主事業収入	実績	20,613,721	14,846,430	7,205,721	自主事業団体の万博出演にかかる 収入の増
	計画	13,408,000	13,801,000		
その他収入	実績	58,032	48,360	58,032	参議院選挙時間外利用料
	計画	0	0		
合計	実績	101,438,279	95,046,933	15,647,879	
	計画	85,790,400	86,123,100		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	43,834,938	43,089,130	48,790	人件費高騰による増
	計画	43,786,148	43,089,130		
物件費	実績	39,483,320	36,104,934	8,896,668	物価高騰による増
	計画	30,586,652	28,180,077		
修繕費	実績	1,772,822	1,564,266	358,822	物価高騰による増
	計画	1,414,000	1,414,000		
自主事業支出	実績	16,301,571	9,597,992	6,726,371	自主事業団体の演奏会実施による増
	計画	9,575,200	9,308,000		
その他支出	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
合計	実績	101,392,651	90,356,322	16,030,651	
	計画	85,362,000	81,991,207		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用率（区民センター）	101.2%	B	区民センターの利用率は目標達成できており評価できる。今後は区民ホールもさらなる利用率向上に期待する。
利用率（区民ホール）	85.0%	C	
満足度（区民センター）	125.0%	S	
満足度（区民ホール）	124.0%		

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・利用の少ない廊下の電気を最小限にするなど、光熱水費の削減に取り組んだ。 ・施設の不良箇所を指定管理者において積極的に修繕等を行い、施設の維持管理に努めている。	A	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	A	・貸出楽器の拡充、広報用ポスター作製、SEO対策の実施などの利用促進策を講じた。 ・多様な自主事業の実施により多くの区民の方が施設を訪れる機会を設け、施設の認知向上、利用促進を図った。
施設の有効利用	A	・空き室を区内の中学校吹奏楽部に無料で貸出するなど、施設の有効活用を行った。
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

利用者や自主事業参加者へのアンケート調査、利用者への直接ヒアリング、意見箱の設置を行い、利用者ニーズ・満足度の把握に努めた。利用者へのアンケートは「予約手続き」「スタッフの対応」「清掃」「備品や設備」などの項目について4段階（大変満足、満足、不満、大変不満）で調査を行い、総合満足度が「大変満足」「満足」の回答が区民センターは100%、区民ホールは99.2%と利用者から非常に高い評価を得ている。
--

6 外部専門家意見

・高い満足度を維持していることは評価できるが、回収率や実施方法についても明示されたい。また、回収率が低いのであれば、実施方法やアンケートの対象者について再度検討されたい。 ・自主事業など施策の検討やアンケートに基づいた改善策の実施など、指定管理者としての取組みについて、資料への見える化及び利用者へのフィードバックを検討されたい。 ・大規模イベントの実施や自主事業団体の関西万博への出場により利用人数及び収入の大幅増が見られるが、稼働率には繋がっていないように見受けられるので、新規利用、継続利用を呼び込む工夫についても検討されたい。 ・従前からの課題である区民ホールの利用率向上に向けて、設備改善をはじめとする具体的な施策を検討されたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	【利用率】 市民ニーズを汲み取った自主事業の実施など更なる利用者の拡大に努めている。区民センターの利用率においては目標を達成できているが、区民ホールにおいては達成できておらず、また、前年度を下回る結果となった。 【満足度】 利用者から指摘があった備品の修繕を行うなど、利用者の意見を丁寧に聞き取りサービス改善に活かすことで、高水準の満足度を保ち続けている。
市費の縮減	A	クーリングシェルターとしての役割も果たしつつ、未使用の場所や時間帯の消灯・空調停止など光熱水費の縮減に取り組んだ。 老朽化が進む設備に対して積極的な修繕を行うことで、大規模な修繕を未然に防ぎ、設備の長寿命化と将来的な維持管理コストの抑制を図っている。
管理運営の履行状況	A	実地調査において「施設の管理運営」及び「社会的責任・市の施策との整合性」は適正に実施されていることを、「事業計画の実施状況」及び「施設の有効利用」は下記のとおり様々な取り組みを積極的に行っていることを確認している。 ・大型楽器を購入し貸し出すなど、ニーズにあわせた取り組みを行っている。 ・空き室を区内の中学校吹奏楽部に無料で貸出することで、施設を有効活用し、地域における文化の向上に貢献している。 ・各種講座を開催し区民の学習機会を提供することで、市民相互の交流の促進に寄与している。 また、自主事業として取り組んでいる「平野マスターズ吹奏楽団」支援において関西万博出場までの事前準備や当日コーディネートなどを行い、平野区の魅力向上に貢献したことは高く評価できる。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性	B	多様な自主事業の実施等により、多くの区民が施設利用できるよう改善を図るとともに、利用者からの意見を取り入れ、利用者ニーズにあわせたサービスを提供するよう各事業に取り組んでいる。
総合評価		